



令和6年10月8日

自動運転車両の事故報告と運転再開について（第2報）

8月20日（火）に事故が発生し運休していた自動運転バスについて、事故原因と対応策をご報告するとともに、10月11日（金）より運転を再開いたしますのでお知らせします。

記

事故の状況：事故発生直前の4秒前に何らかの理由により自動運転モードからニュートラルモードに切り替わり、オペレーターは運転モードが切り替わったことに気づかず、惰性走行し道路縁石に乗り上げ、オペレーターが緊急停止ボタンを操作して停車。

事故の原因：ドライブレコーダーやログ情報より、オペレーターが誤って操作用タブレットに触れてしまったことによる誤操作であると BOLDLY 社から報告があり、村としてこれが事故原因である判断し、北陸信越運輸局・新潟県警とともに映像やログの検証を行った。

今後の対応：事故原因を踏まえて別添のとおり対応することとし、運輸局と県警から了承を得た。

[裏面へ](#)



対 応 ①：操作用タブレットのニュートラルモード（N ボタン）を、走行中に押下できないように改修済（グレーアウト）
運転モードの切り替えについては改めてオペレーターに説明



対 応 ②：走行モードを切り替えた際のアナウンスの音量について
50%以上を維持

対 応 ③：オペレーターへの追加トレーニング
上記①～②の対策を行った車両を使用
北陸信越運輸局、新潟県警の立会の下一部実施



対 応 ④ : カメラ・モニターを3台追加で設置、オペレーターの視界改善



対 応 ⑤ : オペレーター用のドライブレコーダーの設置

